

(別添資料1)

事業所名

クオリティ・オブ・ライフ日佐支援教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

6 日

法人（事業所）理念		「心を育てる」ノーマライゼーション社会の実現を目指して									
支援方針		フットサル、キックボクシング等の運動を中心としたカリキュラムを通じて自由に自己表現ができるよう支援する									
営業時間		10	時	0	分から	19	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	基本的生活習慣の習得（宿題をする習慣がつく、今後の見通しを立てることができる、物の管理ができる）【本人支援】 身辺自立能力の向上（調理体験によりできることを増やす、カリキュラムを通じてできることを増やす）【本人支援】									
	運動・感覚	総合能力の向上、体幹強化、運動能力・基礎能力の向上（フットサル、キックボクシング等の運動を通じて発達を促す）【本人支援】 感覚の向上、偏りの緩和（工作、感覚遊びによる感覚機能の発達を促す）【本人支援】									
	認知・行動	生活に必要な概念の習得（個々に合わせたプリント学習やドリル等で、数量、大小、色等の概念を習得できるようになる。成功体験により自信をつける）【本人支援】 感覚の強化（玩具やパズル、トランプ等を利用して視覚・聴覚・触覚の感覚を十分に活用できるようにする。集中力が向上できる）【本人支援】 認知能力の向上（他児との関係を通じて場面に応じた適切な行動ができる）【本人支援】									
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションに必要な能力の習得（毎日の支援を通して時間や文字に触れ合う時間を設け、時間感覚、言語能力の強化ができる）【本人支援】 コミュニケーション能力の向上（遊びやカリキュラムを通して他児や支援員との関わりから人と関わる楽しさを伝える）【本人支援】 コミュニケーション能力の向上（一方的な発信だけでなく、相手の話を聴く力、自分の事を伝える力が向上できる）【本人支援】									
	人間関係 社会性	感情のコントロール（集団活動、小集団活動を経験し、他児や周囲への声掛けや気持ちのコントロールを習得できる）【本人支援】 社会性の向上（集団活動、小集団活動、集団郊外活動を通して、ルールや社会規範への理解を深める、困った時に助けを求めることができる）【本人支援】									
家族支援		情報の共有、子育て支援（日々の様子を保護者と共有し、保護者の悩みや困りごとを共に解決できる）				移行支援		スキルトレーニング（保護者や本人の意向を踏まえ、将来を見据えたスキルを獲得し、進路を決定できる）			
地域支援・地域連携		地域とのつながり（学校や他福祉サービス等と担当者会議等を通して情報共有し、本人を支える基盤づくりができる。地域の公共施設を利用したり、イベント等に参加し交流を深めることができる）				職員の質の向上		大規模なグループならではのノウハウ（グループ全体で委員会を設置し、事例や教材の共有、適正な運営ができる） 研修による質の向上（外部から講師を招いての研修、資格取得の研修に参加できている。役職に合わせて会議を開催し、情報共有、事例検討、ディスカッション等を行っている。			
主な行事等		季節の行事（夏祭り、ハロウィン、クリスマス等） 誕生日会（新しい関係性の構築、他児に興味を持つことができる）									